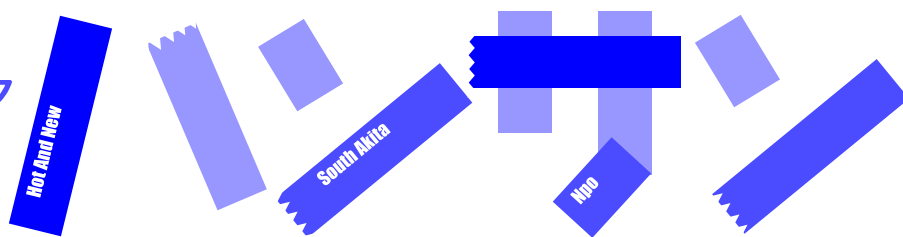


県南のNPOを情報でつなく、ささえる。

秋田県ボランティア NPO 活動ニュース

「県南版」



P2…「癒しフェア in よこて」が開催されました

P3…がんばる地域応援隊 Vol.6
元気なふるさとづくり顕彰事業表彰団体の紹介

P3…秋田県南NPOセンターより
NPOの世代交代を考える～何を受け継ぎ、何を変えるのか～
「NPO事業継承サミット2020」開催レポート ver.3

今月の表紙

「あきた NPO 会議 2020」

2月6日に県北・県央・県南の3会場をオンラインでつなぎ、あきた NPO 会議 2020 (フォーラム)が開催され、コロナ禍での市民活動についての現状と課題、今後の展望について、意見交換を行いました。県南会場では、NPO 法人ゆーとびあネットからの情報提供があった他、コロナに対する認識の差異とどう向き合っていくかという、市民活動らしい話題になりました。(奥ちひろ)

3

March 2021

Vol.158



「癒しフェア in よこて」 が開催されました

主催:癒しフェア実行委員会、南部市民活動サポートセンター
協力:横手市

■開催概要

主催:癒しフェア実行委員会

南部市民活動サポートセンター

協力:横手市

日時:令和3年3月6日(土) 10:00~15:00

会場:横手市交流センターY2 ぷらざ

1F オープンスペース



長引くコロナ禍に加え、折からの豪雪となっている横手市。ほとんどの祭りやイベントが中止となって、暗い話題が目立ち、ひとときの『癒し』を求める声も多く聞かれました。地域活動者・NPOにおいても、活動の場が失われてもうすぐ1年となります。この状況化で“何をすべきか、何ができるか”を地域活動者やNPOなどで話し合い、実行員会を立ち上げて3月6日の「癒しフェア in よこて」が開催されました。話し合い等のコーディネートや、コロナ禍での開催アドバイスを南部市民活動サポートセンターが行いました。

【今回参加した 11 団体】

- ★秋田キャリア支援ネットワーク(キャリアコンサルティング他)
- ★Be linked(フットケアサービス)
- ★癒しのマジシャンえみい(コミュニケーションマジック)
- ★こころ美術館(カラーセラピー)
- ★青山ファクトリー長右工門(タロット、手相鑑定)
- ★アロマスクール彩(アロマハンドトリートメント他)
- ★HEADLAND(体内年齢測定、ヘッドマッサージ他)
- ★むつぐにゆりの似顔絵♪(似顔絵、オーダーイラスト)
- ★アトリエリラ(フラワーアレンジメント、造花)
- ★日本産業カウンセラー協会(自己診断、カウンセリング)
- ★サポステよこて(キャリアに関する相談)



▶今回出展されたみなさん



当日はおよそ170名の方が来場され、コロナ禍によるストレスや、豪雪で凝り固まった心と体をふっとゆるめる癒しのひと時となりました。

◆参加者の声(参加された方のアンケートより抜粋)

- ・心も体も癒された。気づきが得られた。
- ・雪寄せ、コロナで心も体も凝り固まっていたがリラックスできた。
- ・心配していたことが安心に変わった。来てよかった。
- ・来るか悩んだが思い切って来た。気持ちがすっきりした。前を向いていきたい。
- ・初めて手相をみてもらった。体験できてよかった。
- ・とても貴重なアドバイスが聞けた。また参加したい。
- ・もやもやした悩み事がすっきりと晴れた気がした

などたくさん感想が寄せられました。

がんばる地域応援隊

Vol.6 元気なふるさとづくり顕彰事業表彰団体の紹介

秋田県では、自主的・主体的な地域活動に取り組む市民を対象に、特に優れた個人・団体を表彰する「元気なふるさとづくり顕彰事業」を平成19年度から行っています。12月と2月に表彰式が開催されましたので、ご紹介します。(表彰者・団体/活動内容)

■ 仙北地域の表彰者・団体

- ◆彩友会/絵画愛好家が、風景・暮らし・人々などを描き、自己表現の場とするため設立され、芸術文化のすばらしさを地域に発信されています。
- ◆さわやかボランティア ひまわり/「ひとりひとりがひまわりのように輝く」をスローガンに、高齢者が集う場所で、呼吸法教室や足マッサージ教室を開催しています。
- ◆田の尻集落会/大仙市太田地域の集落会で、世代間交流や伝統行事の継承、高齢者世帯の除雪作業などを行っており、幅広い世代が参加しています。
- ◆特定非営利活動法人 光希屋(家)/不登校やひきこもりの青少年たちのために、学習の支援を行うとともに、自分らしく生きるための支援を行っています。
- ◆美郷わらの会/わら細工の技術の伝承、地域交流の活性化のために、小学校でのわら細工体験指導、美郷町歴史民俗資料館での実演などを行っています。



▲仙北地域の受賞者



▲平鹿地域の受賞者



▲雄勝地域(湯沢市)の受賞者



▲雄勝地域(羽後町)の受賞者

■ 平鹿地域の表彰者・団体

- ◆アンサンブル・リベラ/ボランティアとしての演奏活動、チャリティーコンサートの開催など、多様な活動を展開し、地域福祉の向上に貢献しています。
- ◆大沢健康麻雀同好会/地域での仲間づくりや健康づくりを目的に、平成29年に同好会を組織し、地区の交流センターで健康麻雀を定期的に開催しています。
- ◆清原紅蓮隊/平安時代末期の武将に扮し、パフォーマンスを行うボランティア団体で、横手市など合戦の地をPRする目的で、平成24年に結成されました。
- ◆南郷共助組合/高齢者宅の雪下ろしや除雪作業等を通じて、高齢者の生きがいづくりと持続可能な地域づくりに取り組んでいます。
- ◆りんご染め工房プリティアップル/増田町の特産品であるりんごを活用して新たな工芸品を開発し、地域を盛り上げていこうと平成25年から活動しています。
- ◆んだなあ~塾/山内地区を紹介する動画の配信、軽トラックをステージにしたのど自慢大会の開催など、住民を巻き込んで地域全体を盛り上げています。

■ 雄勝地域の表彰者・団体

- ◆明治地区寒中修養講習会実行委員会/厳しい冬の2月頃、老若男女が交流できる講習会を企画開催しており、貴重な住民交流の場となっています。
- ◆岩崎生活サポーターの会/高齢者宅の除雪活動や日常生活支援、道路の除草などを主に行っており、元気な高齢者の活躍の場にもなっています。
- ◆みなせスポーツ・文化クラブ「楽日人」/皆瀬地域で、スポーツ活動の振興や、文化活動を通じた住民の健全な心身の育成を目的に、平成16年に設立されました。
- ◆羽場・市野・皿小屋地域生活サポートシステム/高齢者宅等の除排雪や交流事業を行っています。同じ小学校区内であり住民は顔見知り同士が多いのが特徴です。

受賞された皆さん、おめでとうございます。それぞれの活動が更なる波及効果を生み、市民活動がさらに広がっていくことに期待いたします。(八嶋英樹)

NPOの世代交代を考える ～何を受け継ぎ、何を变えるのか～ 「NPO事業継承サミット 2020」開催レポート ver.3

11月号から連載してきた「NPO事業継承サミット2020」（主催：NPO法人NPOサポートセンター）のレポートも今月が最後となります。世代交代を行ったNPOサポートセンター前代表の山岸秀雄さんと現代表の松本祐一さんによる対談から、事業継承のヒントを探ります。（奥ちひろ）

■ 事業継承時にやって良かったこと

松本 (以下、敬称略)
理事もスタッフも一緒に今後の方向性を議論し続け、その延長線上に世代交代があったことが良かったと思います。「新生NPOサポートセンターになるんだ」という意識を持って進められました。これから事業承継をお考えのみなさんも、場合によっては自分たちが提供するサービスの対象者やボランティアも巻き込んで考えたほうが本当の意味で世代交代できると思います。そうやって私もいつの間にか「うまく入り込まされちゃった」ところがあります。代表になり、組織に対する愛着は強くなりました。後悔としては、もっと早く山岸さんの想いをたくさん聞いておきたかったということです。

山岸
やって良かったことは事業継承に至る議論に参加しながらも、任せることですかね。現在も不満はなく、よくやっていると心から思います。ただね、今のNPOは昔の社会運動を引き継がず明るくやっていると良いところでもあるけれど、逆に、歴史から学ぼうとしないのは活動する上でマイナスになることもあるので学んだほうが良いですよ。今、雇用や貧困の問題など、30年前と同じような社会状況になっていると感じます。その時にNPOはど

う動いたか。提言が採用されなかったのは、その頃には早すぎた可能性もある。そういった歴史を学びながら新しい提言活動に持っていかないと、NPOの力にはならないと思います。一番大切なことはNPOが政治力を持つことです。政治運動をするという意味ではなく、社会的発言力を発揮するということです。そうでなければただの下請けになってしまいます。企業や行政と協働していくことも大事ですが、政治に対しても存在し、協働していくことが大切だと思います。今、本を書いて残そうとしているところです。

■ 世代交代に悩む方へのメッセージ

山岸
後継者を探すとき、その方が生きる上でどういう信念を持っているかが市民活動団体にとっては大切です。信念と覚悟を持って、リーダーシップを発揮していけるかどうかに関わってきます。原則に立ち返ることです。資源を集めて社会システムを動かそうとしたときに、社会とのコミュニケーションがうまくいかないと、いろいろなことがうまくいかなくなります。

松本
前任者と後任者との間で亀裂が生まれ、世代交代がうまくいかないケースが多いようです。でも、変化するきっかけは受け継ぐ方からだと思います。次の時代を担うためには、担う側から働きかけなければ世代交代は起きません。打ち倒して謀反を起こすのではなく、「自分たちは何のためにあるのか」という原点に戻ったときに「今本当にやっているのか」という問いを対話しなければなりません。対話しながら、一緒に今後を考えていく必要があると思います。

秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県南版

ハンサン

2021年3月10日発行
3月号 VOL.158

発行：秋田県あきた未来創造部地域づくり推進課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター（南部市民活動サポートセンター）

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00～18:00
土・日 9:00～17:00

【休館日】木曜日・年末年始（12/29～1/3）

〒013-0046 横手市神明1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.akita-kenmin.jp/

編集スタッフの
つぶやき

VOL.08

南部市民活動サポートセンター長
高城 憲子

今年度最後の「ハンサン」です。日常生活もNPO活動も新型コロナウイルスに席捲されたかのような1年でした。ただオンラインによる新しいセミナーの開催やこれまで棚上げになっていた団体の在り方など原点に帰って考える時間にもなりました。ほとんどのNPOの共通の課題である次世代への事業継承等について「後継者の育成や世代交代」今後の活動について意見交換をする「NPOパーティー2020」を3月に開催します。一緒に考えていきましょう。